

令和6年度 第2回 首里杜まちづくり推進協議会

龍潭周辺整備について

1. 検討経緯
2. 世持橋高欄 概要
3. 松崎馬場整備 概要
4. 龍潭西岸バリアフリー園路基本設計

1.龍潭周辺のあり方に関する本協議会での検討経緯

令和5年度 テーマ活動「龍潭周辺の全体利用計画検討」(R5年10/23,11/25実施。第2回協議会で結果報告)



【テーマ活動で出された主な意見】

- ・活用の幅を広げ、もっと人が集まる場としたい
- ・明るく近寄りやすい環境に改善したい
 - うっそうとしすぎた樹林を明るくする
 - 斜面をフラットにして有効活用
 - トイレ改修
- ・バリアフリー動線を確保したい
 - バリアフリーの一周園路

龍潭に関する地域住民の思いや活用に関する希望・提案を、関係者間で共有した。また現在の利用ルールや、今後の整備事業計画を確認した。

1.龍潭周辺のあり方に関する本協議会での検討経緯

項目	テーマ活動での意見	対応
環境整備	・龍潭の水質改善を。 ・バリケンが増え、不衛生、危険な状況なので完全撤去してほしい。 ・コイ、テラピア、カメなど外来種対策も必要。	清掃の回数を増やしており、引き続き、衛生管理につとめる
親水	・釣りや虫取りを楽しめるようにしたい。 ・親水と安全とのバランスが必要。	虫取りは現ルールで可
園路	・高齢者や障害者も園路を一周できるようなバリアフリーの環境整備を求める。例、水辺園路に拘らず、城西小側のトイレ周辺から円覚寺まで新通路を整備する構想など。 ・中城御殿の向いの階段の整備は、安全・景観の配慮も必要で地域でも様々な意見がある。	西岸バリアフリールートを検討（★）
トイレ	・古い、こわい。車椅子対応を。 ・松崎馬場トイレ新設は賛成だが景観に配慮が必要。	松崎馬場トイレ新設、西側トイレ改築。
歴史文化	・世持橋及び龍淵橋の欄干の復元（再建）を望む。 ・松崎馬場をいろいろと活用したい。	世持橋整備中（★）
植栽	・現在、鬱蒼としすぎている。一部伐採することで改善してほしい。	馬場側から古写真を参考に伐開（★）
その他	・龍潭の清掃活動を広げたい。参加者へ「（仮称）首里地域ボランティア美化活動認定証」が交付できるとよい	地域が進める活動の情報を共有していく
管理運営	・利用申請が簡単にできるとよい。 ・整備後の維持管理をしっかり。	申請の窓口は、首里城公園管理センターに一本化している
あるべき姿	・観光客は訪れにくい。龍潭の存在感をアピールしたい。 ・日常的にレク、散歩しやすい場に。	世持橋・松崎馬場等の整備を進めていく

2.世持橋高欄設計 ①事業概要

- ・旧名慈恩寺橋(1459年)を現在の場所に移築(1661年)後、世持橋となる。慈恩寺橋の建設から約560年、世持橋に移築後360年経過している。
- ・幅員は移築時には $W=4.2\text{m}$ で、戦後8mに拡幅したと言われている。現在の幅員は12m程度である。戦後二度にわたり拡幅されたものと想定される。これは以下の展開図からも想定される。
- ・石積み型式は、移築当時が「あいかた積み」で、戦後の拡幅部が「布積み」となっている。
- ・本体で使われた石材は琉球石灰岩である。(文化財のため) 石材を抜き取った強度確認はない。

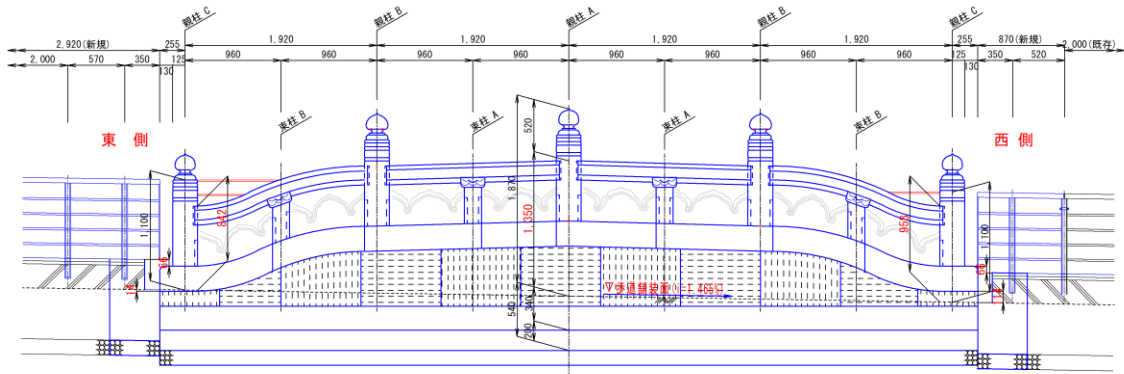


写真 世持橋（戦前撮影、那覇市歴史博物館提供）

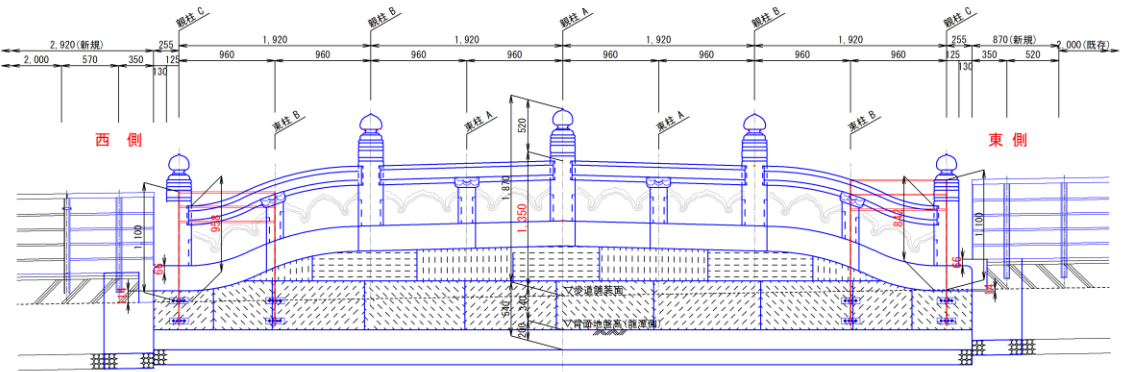
2.世持橋高欄整備 ②整備計画

● 高欄設計図・パース

(正 面)



(背 面)



■イメージスケッチ（道路側から見る）



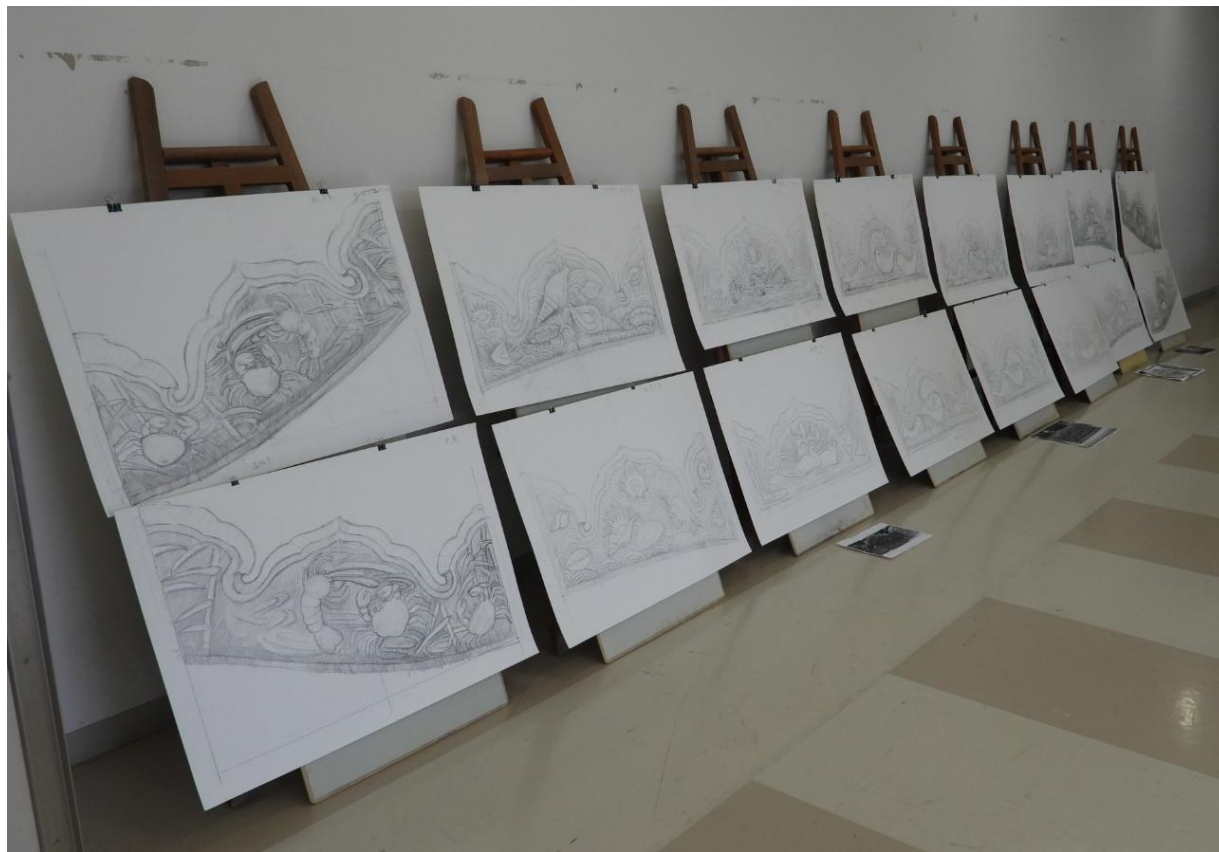
■イメージスケッチ（龍潭側から見る）



2.世持橋高欄整備 ③羽目彫刻検討～下絵及び原型製作状況

- 羽目下絵及び原型の制作は、沖縄県立芸大に委託し実施している。現在、2回の監修を終え、残り2回実施予定。
- 文様の配置は、安里委員の解析や過年度検討を参考に設定した。
- 遺物、古写真、拓本を参考にして下絵を作成した。資料のない部分については類似文様からモチーフや表現特性を分析して作成している。またモチーフがはっきりしないものは、自然科学の専門家にヒアリングするなどして検討。
- 下絵→粘土塑造→石膏原型の手順で進めているが、粘土塑造の過程で判明した事項は下絵や設計にフィードバックしている。

下絵写真



塑造写真



監修風景



3. 松崎馬場伐採・植栽工事について

【目 的】首里城復興基本計画に基づく歴史まちづくりの推進のため松崎馬場の整備を行う

【工事期間】伐採・植栽：令和6年度～7年度 園路整備：令和7年度～令和8年度

【事業主体】沖縄県 首里城復興課・南部土木事務所 街路公園班



写真：「首里城師範学校」
(出典：坂元商店発行絵葉書、首里琉染所蔵)

● 保存木：11本

※伐採予定数量：229本／全240本

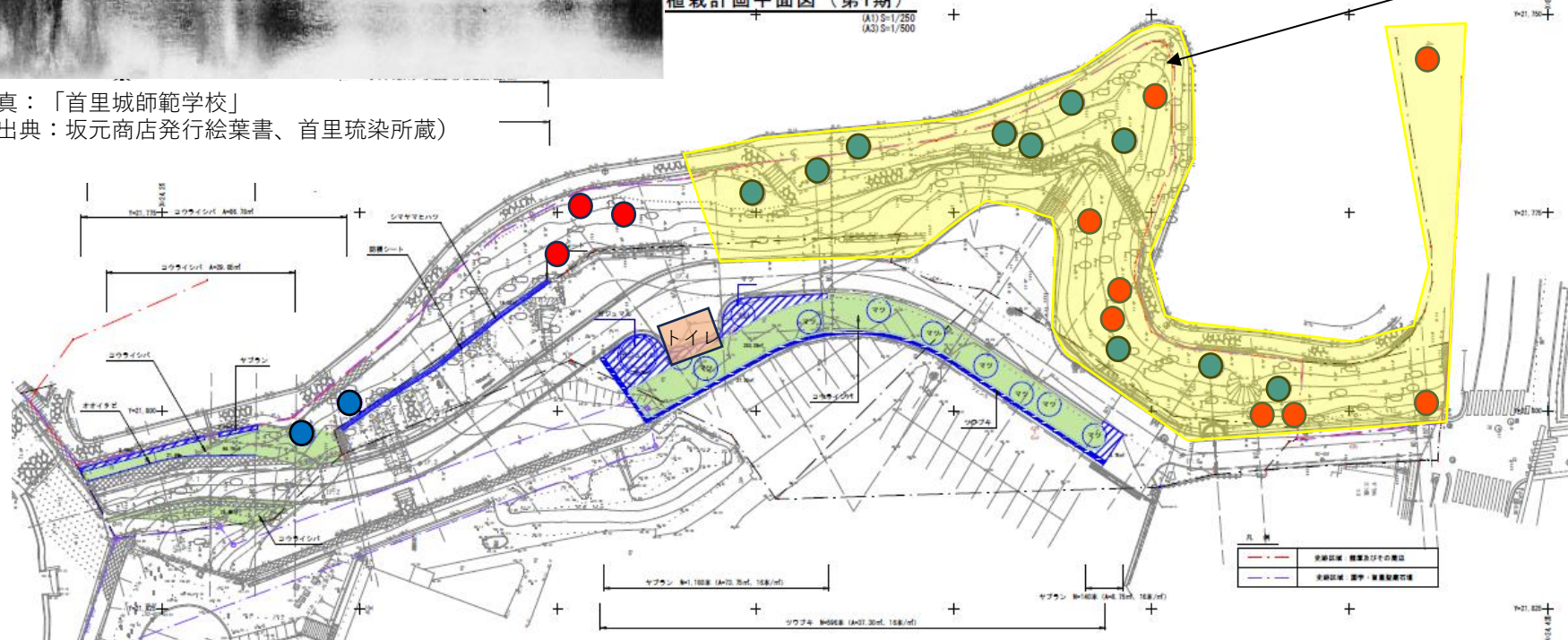
● 植栽木：12本

※樹種：リュウキュウマツ (H=3.5m)



第1期施工箇所

植栽計画平面図 (第1期)



3. 松崎馬場伐採・植栽工事 植栽イメージ (世持橋視点場から)

□現況写真



写真：「首里城師範学校」
(出典：坂元商店発行絵葉書、首里琉染所蔵)

■植栽イメージ (植栽直後 H=約3.5m)



■植栽イメージ (植栽10年後 H=約6.0m)



視点場①：世持橋



3. 松崎馬場伐採・植栽工事 植栽イメージ（龍淵橋を眺める視点場から）

□現況写真



写真：「首里城師範学校」
（出典：坂元商店発行絵葉書、首里琉染所蔵）

■植栽イメージ（植栽直後 H＝約3.5m）



2期植栽予定

■植栽イメージ（植栽10年後 H＝約6.0m）



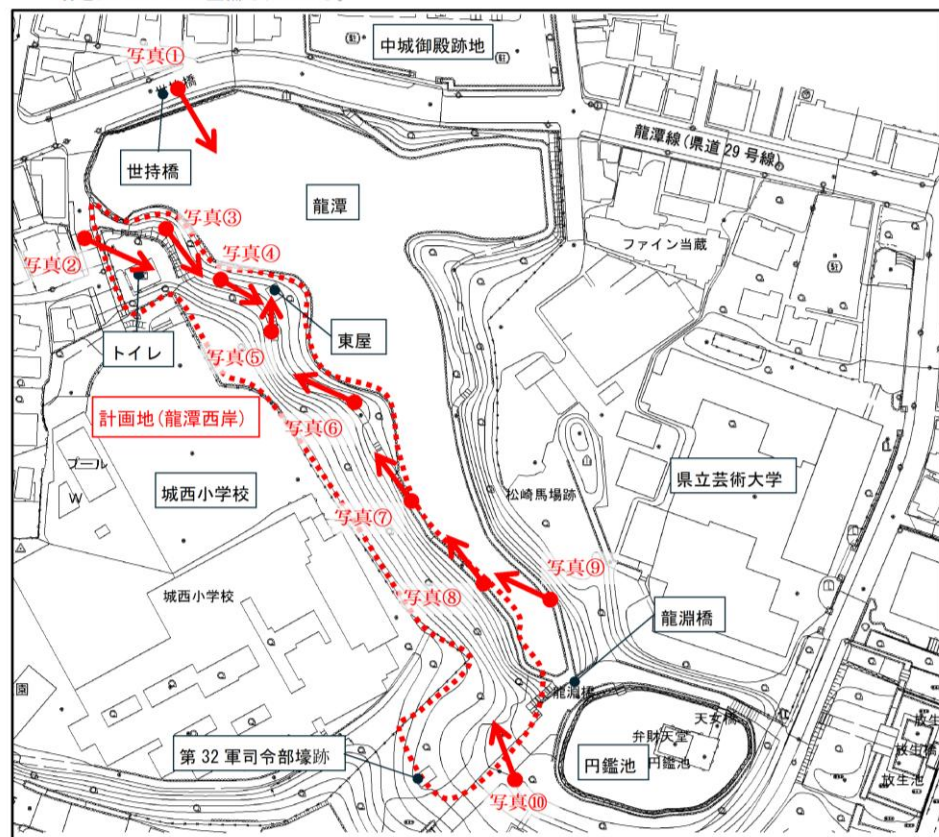
2期植栽予定



視点場②：龍淵橋を含む

4. 龍潭西岸バリアフリー園路基本設計 ①現況把握

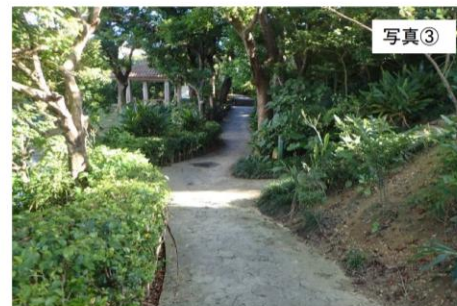
- ・龍潭線(県道29号線)からは、龍潭越しに首里城が見えることから眺望スポットになっている。
- ・既設園路沿いには所々に倒木により疎な箇所があるが、全体的に鬱蒼とした木々に覆われ、昼間でも薄暗いため、雨天後は乾きにくく、滑りやすくなる可能性が高い。
- ・既設園路は石張り舗装と石階段で整備され、既設園路沿いには東屋が設置され、城西小学校前のトイレは、最近リニューアル整備されている。



写真①



写真②



写真③



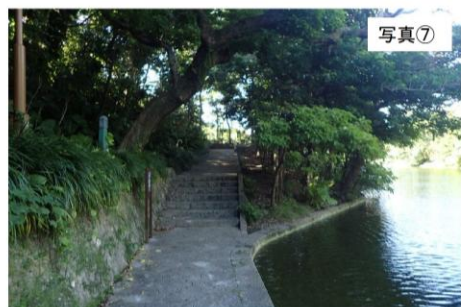
写真④



写真⑤



写真⑥



写真⑦



写真⑧



写真⑨



写真⑩

4. 龍潭西岸バリアフリー園路基本設計 敷地分析(県指定史跡 龍潭及びその周辺)

2.1 県指定史跡 龍潭及びその周辺

- ・昭和30(1955)年11月29日、県指定史跡に指定。
- ・尚巴志が、中国からの使者である冊封使一行をもてなすために、懷機(かいき)に命じて1427年に造らせた人工の池。別名、魚小堀(イユグムイ)とも言う。
- ・「安国山樹華木之記碑(あんこくざんじゅかぼくのきひ)」には、谷地形を利用して池を造り、池の周囲にはいろいろな木や花が植えられたという記録があり、水面には首里城が映り、琉球随一の名勝地であったとされている。



・首里八景『龍潭夜月』

「海心秋月最分明 夾道環教列火城
涼夜肯容輕露下 寒潭遮莫老龍驚」
冊封使 汪楫
(舟次)

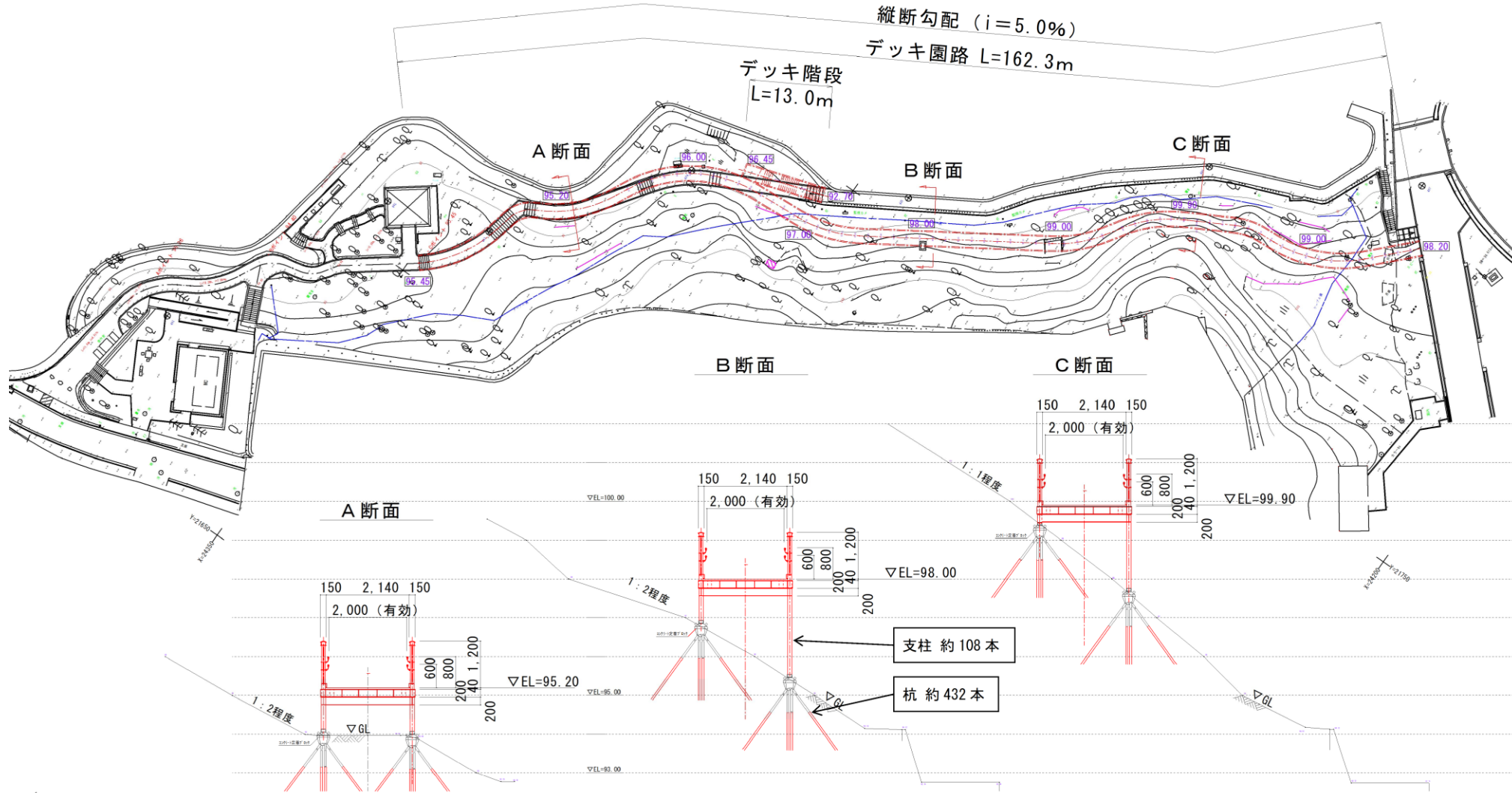
大意；名月こうこうと中天に位し、澄みわたる湖面のさざ波と反映し、そびえ立つ老木が影をうつし、清冷の氣身にしむ。



4. 龍潭西岸バリアフリー園路基本設計 園路検討(案)

D-1 案：デッキ園路とし、現況地形の改変を小さくした案（※有効幅員 2.0mの場合）

- ・ 現況地形の改変を小さくし、既存の斜面地を保全するようデッキ園路を配置する。
- ・ デッキ園路を水際からできるだけ離し、樹林地内に設置する事で対岸からの見え方（景観）に配慮する。
- ・ 改変範囲を少なくするため、既存園路の階段を改修し、デッキ園路として整備する。
- ・ 新設デッキ園路と既存園路との取付けとして、デッキ階段を新たに設ける。
- ・ なお、デッキ園路が目立たなくなるよう周辺からの見え方に配慮する。（デッキ園路沿いへ植栽、デッキ園路本体の色や形状など）



4. 龍潭西岸バリアフリー園路基本設計 デッキ園路の参考事例

国指定史跡「浦添城跡」(延長_約55m)



国指定天然記念物「首里金城の大アカギ」
(延長_約30m)



宜野湾市指定史跡「野嵩クシヌカー」

